

W30 プロジェクト実施ノート

<開始時の状況>

Bくんの両親は201×-1年5月につみきの会に入会し、その後、ご両親がそれぞれ毎日1時間程度、自宅でのセラピーを続けてこられた。そのため、201×年1月末の初回面接時点で、すでに受容的命名が68、音声模倣できる単音が13あった。さらに201×年3月末にW30の集中介入が始まるまでの二か月間に課題が進み、3月末時点で、音声模倣（単音）はほぼ出そろっていた。

そこで、W30でのBくんのセラピーは、まずご両親によって習得済みと報告された課題の確認から入り、初級課題の後半からスタートすることになった。

201×年3月末に初回ミーティングを行い、その翌日から、セラピスト4名が平日の午前、午後、各2~3時間ずつ、交代で家庭を訪問し、セラピーを行なった（ただし月、金は半日のみの訪問。週合計20時間）。またご両親も1日の残りの時間や週末を利用して、毎日2~3時間のセラピーを継続した。

課題は、ミーティングごとに、藤坂が立案した。基本的にはロバース博士の考案したプログラム（The me book）やそれに基づいて作られたつみきの会のテキスト（「つみき BOOK」）に沿って進めた。ただしあまりそれらに発想を縛られないようにするために、なるべくテキストは見ないで、Bくんの状態やニーズに合わせて課題を立案するよう心がけた。

ご両親の意向で、初年度は強化子にお菓子類を使わなかった。

<問題行動>

*（物投げ）当初から、セラピー中に気に入らないことがあると、教材を投げる、テーブルから落とす、という問題行動があった。消去してみたり、投げた直後に腕を持ってしばらく離さないなどの対応を試行錯誤したが、なかなか減らなかった。11月にタイムアウトを導入してから、明らかに減少したが、2年目に入っても時々増加した。3年目以降はなくなった。

*（無反応）Bくんは、自分の好きなことには喜んで取り組むが、いったん興味を失うと、指示や問いかけに全く反応しなくなる一種のボイコット（？）反応が頻繁に見られた。これに対しては、待ってみたり、タッチなどの簡単な反応を促してみたり、それでも無反応が続くときは、「立って」「すわって」の指示を3~10試行程度繰り返す、一種の罰手続きを取るなど、試行錯誤を繰り返した。これらは一定の効果はあったが、無反応を劇的に減らすことはできなかった。それよりも、Bくんの好きな活動や興味のある話題から入って、気持ちを乗せてから課題に取り掛かると、無反応が減るようだった。そのやり方がうまいセラピストの時は、明らかに無反応が少なかった。3年目からはそのセラピストが唯一担当セラピストとして残った。そのせいか、あるいはBくんの成長のせいか、3年目からは無反応はかなり減少した。4年目に入ると、ようやく無反応が見られなくなった。

*（唾吐き）反抗的行動の一つとしてセラピー中のつば吐きも時々見られたが、消去で対応した。2年目の途中から見られなくなった。

*（かんしゃく）プロンプトを拒否してかんしゃくになることがあった。特に二年目に入ってから見られた。あくまでプロンプトして、かんしゃくそのものは無視して消去した。

1. 一年目の課題

201×年4月上旬

コンプライアンス（「おいで」）、目合わせ、動作模倣（身振り、立ってする、物に関する）、マッチング（同一物、似たもの）、音声指示（身振り、立ってする、物に関する）、音声模倣（単音、二音節）、遊び（ごっこ遊び、おもちゃ遊び）、物の受容的命名、物の表出的命名、人の名前付け（パパ、ママ、先生）

201×年5月上旬

コンプライアンス（「すわって」、学習姿勢の指示）目合わせ、マッチング（似た物）、動作模倣（身振り、立ってする、物に関する、模倣の持続）、音声指示（身振り、立ってする、物に関する）、音声模倣（単音、二音節）、関わり遊び（おままごと、戦いごっこ）、一人遊び（パズルなど）、**絵本の読み聞かせ**、物の受容的命名、表出的命名、人の名前、**動詞の表出**、**自発語を引き出す**（要求、叙述）、**衣服の着脱**（パンツ、ズボン）、**手遊び歌**

*Bくんには、気に入らないと大人の指示に従わない、という問題があったので、セラピー開始当初からコンプライアンス（指示に従う姿勢）を重視した。具体的にはセラピーの小休憩中におもちゃで遊んでいる状態から、大人が「すわって」と言ったら遊びをやめて椅子に座る（5秒以内に椅子に座る行動に着手）、という課題を早くから取り入れた。当初は、「すわって」の指示と同時に、大人がおもちゃを手で押さえるなどして、着席行動をプロンプトした。徐々に、プロンプトなしでもすわれることが増えた。プロンプトしてもすわらない場合は、床に立たせて「すわって」と言ったら椅子に座る練習を5試行ほど繰り返した。

この「すわって」の課題は、最低限のコンプライアンスが維持されているかどうかの指標課題として、4年目の最終年度の終わり近くまで、常に課題の中に入れていた。

「目合わせ」（遊び中に「Bちゃん」と呼んだら、こちらの目を見る）の課題も同様に、指標課題として、最終年度の終わりまで継続した。

*「絵本の読み聞かせ」はご両親の希望で、課題の中に取り入れた。主にご両親が自身の担当時間に取り組み、Bくんが上級課題に入るまでは、セラピストがこの課題に取り組むことはあまりなかった。

201×年6月上旬

コンプライアンス（「すわって」、学習姿勢の指示）、目合わせ、マッチング（逆）、動作模倣（身振り、立ってする、**遅延**）、音声指示（身振り、物に関する）、**物×指示**、音声模倣（二音節、三音節）、関わり遊び、手遊び歌、パズル、**外遊び**（公園）、絵本、受容的命名、**二つの物**、表出的命名、動詞の表出、色の命名、自発語、衣服着脱（パンツ、ズボン）、**手洗い**

*「外遊び」：セラピー時間が3時間あるときは、途中で気分転換と般化を兼ねて、近所の公園までセラピストと散歩し、公園の遊具で遊ばせた。

201×年7月上旬

コンプライアンス (すわって)、目合わせ、模倣 (遅延、目と表情、指)、物×指示、関わり遊び、模倣を使った遊び (つみき)、パズル、手遊び歌、絵本、外遊び、二つの物、二語文、色、形、基本的形容詞 (大小)、衣服着脱 (パンツ)、手洗い

* 「関わり遊び」は、①やりとり・あげもらい、②動作やことばのシンクロ (二人が同時に同じことをしたり、同じ言葉を発して楽しむ)、③模倣、後追い (大人の反応を模倣する)、④目合わせ、⑤想像 (ふり、見立て)、⑥代わりばんこ・役割交代などの反応を増やすことなどを目標に立て、おままごと、たたかいごっこ、人形遊びなど、その都度、セラピストや子どもの選んだ遊びを楽しく遊んだ。この課題は、数年間にわたって続けた。

* 「模倣を使った遊び」はつみき、ブロック、粘土、乗り物などを、大人がモデルを示し、それをまねすることから始めて、最終的には一人で想像力を働かせながら、遊んだり、お友だちと一緒に遊べるようになることを目指した。B君はこの頃、動物が好きで、つみきやブロックで動物を作ることはかなり早くから好きになり、一人でも遊べるようになった。

201×年8月上旬

コンプライアンス (「すわって」、コンプライアンス系指示)、目合わせ、模倣 (指、鏡面)、やり返し、キャッチボール、音声模倣 (三音節)、関わり遊び、模倣を使った遊び (ブロック、つみき)、パズル、手遊び歌、外遊び、絵本、受容的命名、表出的命名、動詞カードの受容と表出、二語文、色、分類、形容詞 (長短、熱冷、明暗、高低)、位置、動物の鳴き声、衣服着脱、手洗い

* Bくんは我々が通常、新しいものの名前や概念を教えるときに用いるディスクリートトライアル・ランダムローテーションが嫌いで、すぐに自分の意識をシャットアウトしてしまう。特に色を教えた時は、一か月以上全く進展がなかった。そこで一種の「フラッシュカード」方式 (観察学習) を試してみることにした。5, 6枚の色カードを、その色の名前を言いながら、Bくんの前 (左上、右上、左下、右下など) に提示する。Bくんは色の名前をエコーしながらそのカードをタッチする (いろいろな場所に提示するので、それをタッチするのはおもしろらしく、その時は色カードを見てくれる)。これを一週間くらい続けた後に、試してみると5, 6色のうち2色くらい覚えていた。そこからレパートリーを増やしていくことができた。のちにひらがなを教えるときもこの方法を採用した。

201×年9月上旬

コンプライアンス (「すわって」、セラピーにおけるコンプライアンス系指示 (手はおひざ、足ちゃんと、など))、目合わせ、般化訓練、マッチング (似たもの)、音声指示 (日常におけるコンプライアンス系指示 (おいで、ストップ、ダメ、待って) など)、音声模倣 (3~4音節)、受容的命名、表出的命名、人の命名、動詞の受容表出、二語文 (O+V、S+V)、色×物 (受容表出)、形容詞 (熱冷)、位置、社交的応答、所有、関わり遊び、模倣を使った遊び (粘土など)、追いかけて、ボール (投げる、受け取る)、代わりばんこ、外遊び、絵本、衣服着脱 (靴、シャツ)、手洗い

*「般化訓練」はセラピールームでできることをそれ以外の場所に般化するために、リビングに移動して、そこで15分ほど、習得済みの課題を行なった。

201×年10月上旬

コンプライアンス、目合わせ、般化訓練、受動的共同注視、二段階動作模倣、二段階音声指示、声の大小、歌、物の命名（受容表出）、物+物の二語文（〇〇と〇〇）、動詞カード、人+動作（家族カード）、色×物、形容詞（きれい、きたない）、時制（してる/した）、位置、所有、関わり遊び、模倣を使った遊び、ごっこ遊び（お店屋さんごっこなど）、はさみ、線模倣、まねっこ（ジュースを飲む真似、ご飯を食べるまねなど）、代わりばんこ、外遊び、衣服着脱（シャツ、靴、靴下）、手洗い

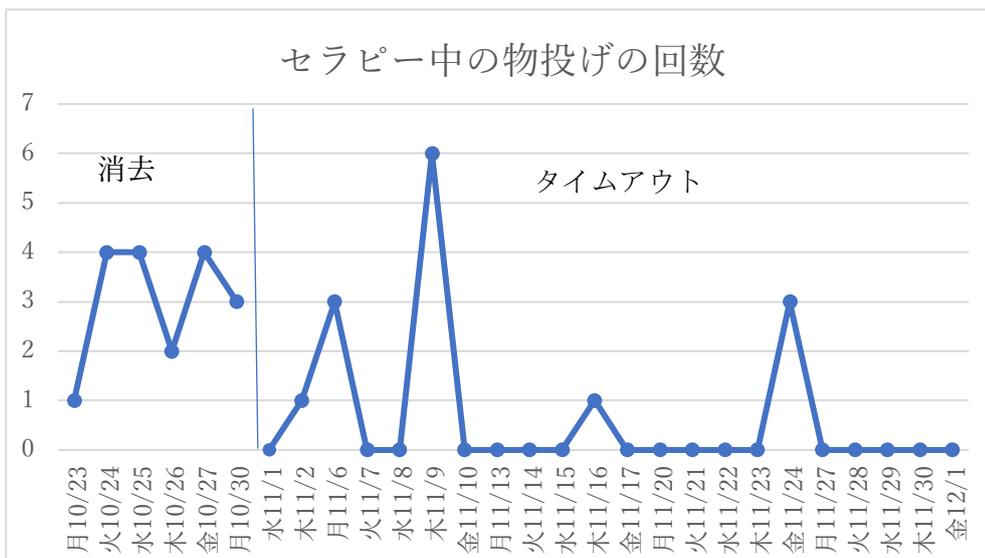
*「人+動作」（家族カード）は、Bくんの家族（パパ、ママ、兄弟、本人）が様々な動作をしているところを写真カードにし、それを受容・表出させた。

201×年11月上旬

コンプライアンス、目合わせ、般化訓練、音声模倣（さ行、3、4音節）、音階（キーボードに合わせてドレミで歌う）、歌、物の命名（新しい物を増やす）、場所の命名、動詞カード（受容と表出）、人+動作の二語文（「が」の導入）、物の機能、位置、性別・世代、数（「いち」と「に」）、意志のYes/No、否定の指示、事実のYes/No、想起、関わり遊び、模倣を使った遊び、ごっこ遊び、はさみとのり、線模倣、外遊び、衣服着脱、手洗い、ボール（蹴る、投げる）

*音声模倣は、さ行がまだ言えなかったなので、課題を復活させ、しばらく取り組むことにした。

*セラピー中の物投げが続いていたが、それまでの消去から11月にタイムアウトに切り替えてから、かなり減少した。



201×年12月上旬

コンプライアンス、目合わせ、般化訓練、**探す**、音声模倣（さ行）、音階、歌、物の命名、場所の命名、**人・公共職業**（〇〇ちゃんのパパ、お医者さん、看護婦さん）、動詞、**助詞**（「に」と「を」）、物の機能、**物の形・特徴、カテゴリーに属するもの**、位置、性別・世代、数（1, 2, 3）、意志のYes/No、**質問の弁別**、社交的応答、関わり遊び、ごっこ遊び、はさみとりのり、線模倣・**お絵描き**、外遊び、衣服（ボタン）、**トイレトレーニング**、運動（ボール、三輪車）

* トイレトレーニングに挑戦したが、この時は途中で熱を出してしまい、失敗。結局、あと2回挑戦して、3月末にようやく成功した。

201×+1年1月

コンプライアンス、目合わせ、般化訓練、探す、音声模倣、歌、物の命名、動詞、助詞、**これ・あれ**、物の機能、物の形・特徴、**動物・生き物の特徴**、カテゴリーに属するもの、**場所に属するもの**、位置、**感覚・感情**、数、Yes/No、質問の弁別、**知らない**、関わり遊び、ごっこ遊び、**勝ち負け**、はさみとりのり、線模倣・お絵描き、外遊び、衣服（ボタン）、運動

* 数は1と2がなかなか区別できなかつたが、教材をチョコに変えたところ、すぐにできるようになった。

201×+1年2月

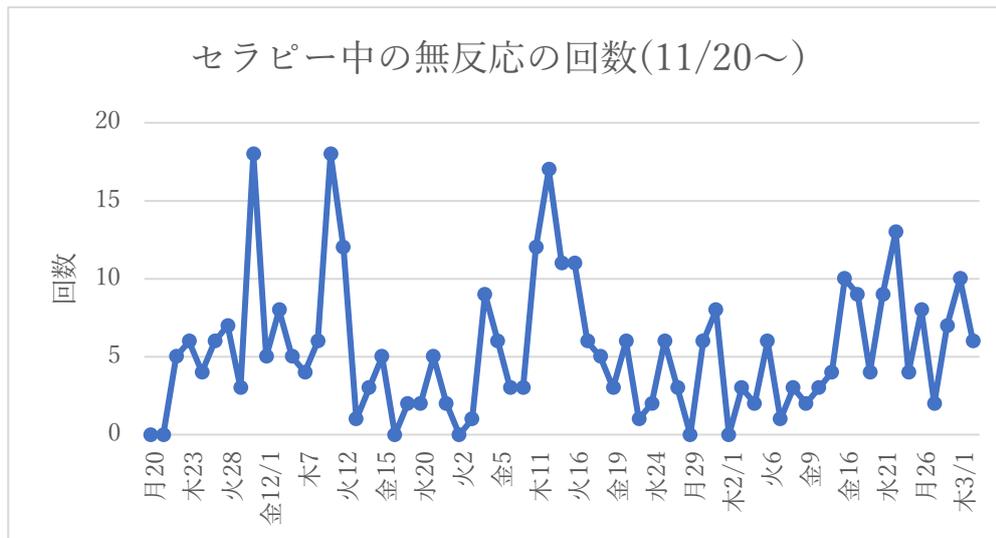
コンプライアンス、目合わせ、般化訓練、音声模倣、歌、物の命名、人の命名（セラピストの名前の復習）、動詞（**対動詞**）、助詞、これ・あれ、物の形・特徴、動物・生き物の特徴、カテゴリーに属するもの、位置、感情（うれしい・かなしい）、数（1, 2, 3）、質問の弁別、**質問の自発**、**依頼・誘い**（～して）、**情報交換型会話**、関わり遊び、勝ち負け、はさみ、お絵描き、**楽器**（カスタネット）、**サークルタイム**、外遊び、衣服（ボタン、スナップボタン）、運動（お山すわり）

* Bくんは4月から幼稚園に入園することになったので、その練習のためにサークルタイムを始めた。

201×+1年3月上旬

コンプライアンス、目合わせ、**復習課題**、音声模倣、歌、助詞、**助詞付き三語文**、物の特徴、動物・人の特徴、位置（上下横前後ろ）、**一番大きい**、**順序**（初め、次、最後）、**どうなる？** 数（数える（10まで））、**数字の読み**、質問の弁別、情報交換型会話、関わり遊び、はさみ（輪郭に沿って切る）、お絵描き（一筆ずつ→完成図を見て→〇〇描いて）、楽器（キーボード）、サークルタイム、外遊び、衣服（ボタン、スナップボタン）、運動（ボール、三輪車）

* ここに来て、無反応は相変わらず減っていない。苦手な課題、飽きた課題の時に多い。



*B くんは無反応が減らないため、「復習課題」としてすでに習得済みの課題を復習することで、課題の単調さを和らげ、成功体験を多く積ませることにした。

*幼稚園で鍵盤ハーモニカがあるので、練習のためキーボードを導入した。

2. 二年目の課題

B くんが幼稚園に入園したことから、訪問セラピーは午後のみになり、セラピストのセラピー時間数が週 8 時間、担当セラピストは 3 人に減少した。親御さんがその分、自発的にセラピー時間を増やして、週 15 時間程度実施された。チームミーティングは月 2 回行なった。

親御さんの希望もあり、園もシャドーを認めそうになかったため、幼稚園にはシャドーなしで入れた。幼稚園のクラスには、担任の他に補助員がいて、B くんへの援助もしてくれた。

昨年度、ときおりの無反応に困りながらも、課題は初級から中級前半、中級後半へと、振り返ってみれば順調に進んできた。二年目は早くも本格的に上級課題に入っていく。

201×+1 年 4 月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、歌、～は～も、助詞付き三語文、物/動物/人の特徴、形容詞（重い軽い、広い狭い）、位置（中、真ん中）、順序、**どうなる・どうする**、数、数字の読み、質問の弁別（誰、どこ、何してる）情報交換型会話（過去の経験も）、**比較表現**（もっと）、関わり遊び、勝ち負け（多い方が勝ち）、じゃんけん、はさみ、お絵描き、**折り紙**、楽器（リズム三拍子）、サークルタイム、外遊び、衣服（前後ろ）、運動

201×+1 年 5 月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、**中上級動作模倣**（遅延二段階、同時二動作、左右非対称）、歌、位置（物×位置、人×位置）、**同じ・違う**、感情（表情カードでうれしい顔、悲しい顔）、**絵の説明**（絵を見て、二つ以上の文で状況を説明する）、**ストーリーの説明**（連続カードを使って）、ど

うする?、どうして?、数(11以上)、数字、ある・いる、比較表現、スリーヒントクイズ、関わり遊び、つみき・粘土、すごろく、線模倣、はさみとのり、折り紙、楽器(キーボード、リズム)、外遊び、衣服(裏返し)、運動(ストライダー)

*新年度に入り、反抗的行動が目立つようになってきた。数字書きでわざと間違えたり、楽器でプロンプトを拒否して、かんしゃく35分など。教材落としも復活。かんしゃくには消去で対応。5月後半に入って落ち着いてきた。

*「復習課題」は

第一段階 前半に週は週2回、後半に週は週1回

第二段階 二週に一回

第三段階 一か月に一回

と段階的に復習回数を減らすことにした。正解率が悪くなれば、段階を元に戻す。

201×+1年6月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、指示の持続、歌、位置(左右)、感情、絵の説明、ストーリーの説明、どうする?どうして?、うなずき・首振り、数、数字、スリーヒントクイズ、関わり遊び、つみき・粘土、線模倣、はさみとのり、折り紙、楽器、サークルタイム、外遊び、衣服(裏返す)、運動

*「お試し課題」という項目を新設し、親やセラピストが自分の思いついた課題(あるいはテキストにある課題でやってみたい課題)をやってみてよいことにした。よさそうな課題は、藤坂が正規の課題として採用する。

201×+1年7月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、指示の持続、パーツの名づけ(こぶ、プロペラ、ボタンなど)、形(三角と四角)、どこが違う?(こっちは赤、こっちは黄色)、ストーリーの説明(絵本を使って)、どうして?、あいさつ(非エコー型)、適切な質問を返す、数(いくつ?)、数字(1~30)、回数、平かなの読み、関わり遊び、つみき・粘土、線模倣、点結び、はさみとのり、折り紙、サークルタイム、衣服、運動、トイレトレーニング(トイレの後に楽しい活動があるように計らう)

*この頃、幼稚園でおもしろしが何度かあった。家でも促さないと行かないことが増えたので、トイレトレーニングを再導入した。

*ひらがなの読みは、あ行から始めて、5枚ずつ、フラッシュカード方式で提示し、1週間ほど続けてから、未修得のものを不連続試行で弁別訓練した。

201×+1年8月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、指示の持続、知覚動詞、条件付き指示、ストーリーの理解、どうして・どうする、理由を言う、いい子・悪い子、クイズ、感想コメント、数

(数の単位)、平かなの読み、**他者視点の取得**、関わり遊び、ルールのある遊び、お絵描き、折り紙、楽器(キーボード、人差し指で)、サークルタイム、衣服(シャツを入れる)、運動

201×+1年9月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、指示の持続、**複雑な指示**、条件付き指示、どこが同じ?、**～って何(誰)?**、ストーリーの理解(昔話や童話絵本で)、どうして・どうする、いい子・悪い子、クイズ(クイズを出し合う)、**ほんと?うそ?**(ぞうさんは南極に住んでるよ。ほんと?うそ?)、感想コメント、**できる・できない**、いろんな概念、数(残りは何個)、平かなの読み、他者視点の取得(見えないところに隠す)、関わり遊び、**ルールのある遊び**(飛び石じゃんけん)、お絵描き、折り紙、楽器(キーボードで「ちょうちょ」)、**幼稚園ごっこ**、衣服、運動

*サークルタイムをお母さんが「幼稚園ごっこ」と呼んでいた(内容もそうなので)、課題名をそれに合わせた。

*この頃、無反応が再び増加。1日に2～4回、多いときは9回。

*幼稚園で朝から興奮して走り回り、活動に参加できず、お母さんが園に呼ばれる。先生の指示も無視する。教室から出てしまうことあり。

201×+1年10月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、指示の持続、複雑な指示、**文をつなげる**(それから)、**自動詞・他動詞**、どこが同じ?どこが違う?、～って何?(カブトムシってどんなもの?)、**知識を広げる**(虫について)、ストーリーの理解、どうして?、**いろんな概念・表現**(～か～、まだ/もう)、**朝昼夜**、**指さし・矢印**、数(1～50)、平かなの読み、数字を書く、他者視点の取得(隠す)、**人の評価**(かっこいい、やさしい、いじわるなど)、関わり遊び(人形のつもりになってしゃべる)、ルールのある遊び(三人じゃんけん)、楽器、幼稚園ごっこ、衣服(シャツを入れる)、運動(体操・ダンスの模倣)

*園にお願いして、お母さんが一時的にシャドーに入るようになった。

*無反応、先月と同程度。

201×+1年11月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**迷路**、指示の持続、幼稚園ことば、文をつなげる、同じ・違う(「どこが違う」カードで)、知識を広げる(乗り物の名前と特徴)、**行事に関する知識**(お誕生日、クリスマス、お正月)、**一番～・○番目**、**好き・嫌い**(好きなもの何?嫌いなもの何?)、いろんな概念、クイズ(手の中のもの当て)、**反対語**、朝昼夜、平かなの読み(濁音、半濁音、単語)、数字の書き、関わり遊び、ルールのある遊び(かくれんぼ)、お絵描き(自由画)、**工作**、楽器、幼稚園ごっこ、運動(けんけんば)

*お母さんのシャドー継続。着替え、移動で並ぶ、お片付け音楽でお片付けはできるように。しかし、制止されたり、気に入らないとまだ外に出ることあり。先生の指示をちゃんと聞いていない。お友だちがシールを渡してくれるが無反応。

201×+1年12月上旬

コンプライアンス、呼びかけへの目合わせ、要求・課題時の目合わせ、復習課題、お試し課題、動詞の語尾変化、幼稚園ことば、あげもらい、質問の弁別（上級）（何が何を、誰が誰を）、文をつなげる（S+O+S+O.～が～したら、～が～した）、知識（働く人々）、曜日ときょう、時計、いろんな概念（もし～だったら）、どうして・どうする（「お返し」）、複雑な感情（さみしい、くやしい）、クイズ（Bくんが出題）、平がなの読み（濁音、半濁音）、数字の書き、関わり遊び、ルールのある遊び、お絵描き（自由画）、はさみ、楽器（ピアノカ、キーボード）、幼稚園ごっこ、運動（鉄棒）

*無反応は一日1～2回程度に。意に反したことをされたとき、怒ることが増えた。消去で対応。

*幼稚園でのある日、朝からテンション高く、朝のお支度をしない。外遊びのとき、靴を投げる。粘土の準備のとき順番を抜かそうとし、止めると怒る。その後は徐々に落ち着く。

*要求の時に目を合わせないことがあるので、課題として取り上げた。表出系課題の時も、目を合わせずに答えるので目合わせを求める。

201×+2年1月上旬

コンプライアンス、呼びかけへの目合わせ、要求・課題時の目合わせ、復習課題、お試し課題、受け身、接続詞（それから、それで、だから）、「ねー」言葉（「あのさー、ぼくさー」、知識（自然のもの、外のもの）、曜日ときょう（きのう）、時計、位置（となり、間）、擬音語・擬態語（つるつる、ざらざらなど）、どうして？、平がなの読み（きゃ、きゅ、きょ）、平がなの書き、関わり遊び、立ってするルール遊び（だるまさん、変わり鬼、かくれんぼ）、すわってするルール遊び（すごろく、黒ひげ危機一髪、あっち向いてホイ）、お絵描き、はさみ、楽器、幼稚園ごっこ、身辺自立（制服をたたむ）、運動（前転）

*無反応相変わらず。6分続くことも。かんしゃく、つば吐きも2週間に二回、

*子どもとして自然な終助詞（「ねー」など）をつけて話せるようになることを目指して、「ねー」言葉を導入。ただしBくんには「ねー」ではなく、地域で男の子が使っている「あのさー、おれさー」などの「さー」ことばを教えることに。

*ルール遊びの種類が増えてきたので、「立ってするルール遊び」と「すわってするルール遊び」に大別することに。

201×+2年2月上旬

コンプライアンス、呼びかけへの目合わせ、復習課題、お試し課題、受け身、接続詞、「ねー」言葉、物の特徴、知識（自然のもの、外のもの）、時計、擬音語・擬態語、概念（人間／妖怪、男／女）、概念（約束）、どうして？、いい子・悪い子、平がなの読み（促音）、平がなの書き、関わり遊

び、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び（神経衰弱）、お絵描き、塗り絵、リズム、楽器、ピアトレ、幼稚園ごっこ、身辺自立（おはし）、運動（風船バレーなど）

* 対子ども社会性を向上させるために、月に1度、セラピストの子どもとピアトレをすることに。

* 無反応1日1~4回、5、6分続くことも。

201×+2年3月上旬

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、あげもらい、それ、会話をつなげる、イニシエーション（自分から相手にアプローチする練習）、特徴の理解（〇〇だけにあるもの）、時計、概念（指切り、仲よしなど）、どうして、いい子・悪い子（いい子、悪い子の理由）、ストーリーの理解、平がなの読み、平がなの書き、関わり遊び、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び（すごろくの追加ルール）、お絵描き、リズム（歌に合わせて手拍子）、楽器、ダンス（エビカニクス）、ピアトレ、身辺自立（スプーン・フォークの持ち方）

* 「ダンス」：ダンスが苦手なので、毎月、一つのダンスを選んで、教えることにする。

* 「特徴の理解」：「ライオンってどんなもの？」と聞いても、「鼻がある」などと、ほかの動物にもあるものを言うので、その物にしかない特徴とは何か、を教えることにした。

* お母さんのシャドーの甲斐があって、幼稚園での行動はかなり改善したが、まだ問題が残っている。朝の会でふざけたり、ほかのクラスを覗きに行く。お着替え・支度のときふらふら。自由時間から戻る時間に戻れず。列を意識せず、前の子を抜かそうとする、など。

* 無反応がかなり減少。二週間で3日だけ。1日1~2回。減った理由はよくわからない。

3. 三年目の課題

三年目に入り、チームミーティングは月1回に減らした。担当セラピストも基本的に一人だけ（週二回×2時間）だけになった（ほかにもう一人のセラピストが月1回のピアトレを継続）。ご両親が頑張っていて、二人で週17時間のセラピーを行なった。

課題は上級に入り、Bくんにあった課題を考え出すのに、月1回のミーティングのたびに苦労した。

この頃から長く続いた無反応が減少する。原因として、一つはBくんの精神的成長が考えられる。反抗的な態度が影を潜め、温和で人懐っこい性格になってきた。他には、最後の一人となった担当セラピストが、Bくんととても相性の良い、乗せ上手なセラピストだったことも影響しているかもしれない。

201×+2年4月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、複雑な指示、あげもらい（してあげた、してもらった、してくれた）、これあれそれ、どうしたらいい？、会話、質問の自発（どうするの？）、反論とその理由、概念（まっすぐ、曲がってる）、物の特徴、日にちと曜日（何日？）、ことばの文章題、ストーリーの理解、平がなの読み、平がなの書き、立ってするルール遊び（バナナおに）、すわっ

てするルール遊び（すごろくなど）、お絵描き、工作、リズム、楽器（ピアノ）、ダンス（ラーメン体操）、ピアトレ、身辺自立、運動

*無反応は少なめ（1日1回程度。1回30秒～3分）

201×+2年5月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**発声練習・早口言葉**、接続詞、**「り」言葉**、**～なもの（こと）**（強いもの、言って）、**自分の意見を言う**、**ショートストーリー**（3文程度の短い文章を読み上げた後、質問する）、ストーリーの理解、**なぞなぞ**、会話、数、日にちと曜日（何日？と何曜日？の弁別）、時計、平がなの読み（宝探し）、平がなの書き、立ってするルール遊び（アイスクリームおになど）、すわってするルール遊び（古今東西ゲームなど）、お絵描き（自由に）、工作、リズム、楽器（木琴）、ダンス、ピアトレ、身辺自立（ひも結び）、運動（缶ぽっくり）

*無反応がかなり減った。時折、1分以内の短いものがあるだけ。

*「り」言葉は、語彙を増やす一環として、「うっかり、しっかり、のんびり、びっくり」など、「り」で終わる言葉の意味を教えた。

*言葉の流暢さを増すために、早口言葉を試しに導入。ただしあまり種類がなく、短期間で終わった。

*クイズの延長としてなぞなぞを導入。「イスはいすでも甘くて冷たいイスは？」など。

201×+2年6月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**犯人は誰だ！**、**しりとり**、「り」言葉、ショートストーリー、絵本（本人に読ませる）、なぞなぞ、会話、数、日にちと曜日、時計、平がなの読み、文字の書き、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び（トランプを導入）、お絵描き、折り紙（復活課題）、工作、リズム、楽器、ダンス、ピアトレ、身辺自立、運動（なわとび）

*「犯人は誰だ！」：誰もいない部屋に置いてあったケーキを誰かが食べちゃった。犯行現場に残された手がかりから、三匹の動物のどれが犯人かを当てる。

*無反応、少なめ（二週間中3日、計4回）。久しぶりにかんしゃくが1回。

*幼稚園の運動会で、自分のチームが負けることが分かって泣きだす。

201×+2年7月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**視覚記憶**（見たものを覚えていて言わせる）、**問題解決思考**（何を使ったらいい？）（「犯人は誰だ！」の後継課題）、接続詞（だから）、「り」言葉、ショートストーリー、絵本、会話、数（数の単位）、**列の理解**（前から何番目、後ろから何番目）、**季節と月**（季節の特徴、その月の行事（12月＝クリスマス）など）平がなの読み、カタカナの読み、平がなの書き、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び（ババ抜き）、**表の理解**、お絵描き（三角、四角）、折り紙、工作、リズム、楽器、ダンス、ピアトレ、身辺自立、運動（なわとび）

*表の理解は楽しく学べるように、「宝探しゲーム」（縦3列、横3行の表の9個のマスに白紙カードを裏返しにして、置いておく。9個のカードのうち、3個だけに、裏に★印を描いておく。大人と子どもが交互に、「ぞうの3」「パンダの2」などと言い合い、開いたところに★印があったら、いった人がゲット。3つのうち2つの★をゲットした方が勝ち）を導入。

*お絵描きは長らく自由に描かせていたが、なかなか上達しないので、基本アイテムを、プロンプトしてきれいに描く練習に戻すことに。まず三角と四角から。

*無反応は影をひそめた。代わりに時折かんしゃくが出る。プロンプトされたときなどに。幼稚園でもピアノの練習の時、先生に指の位置の間違いを指摘されると、怒ってやらなくなった。

201×+2年8月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**観察と洞察**、**名詞・動詞を増やす**、接続詞、**聞き返す**、会話、ショートストーリー（小話からその人の性格を読み取る）、絵本の読み聞かせ、数（数の単位）、季節と月、平がなの読み、絵本の読み、カタカナの読み、平がなの書き、**隠す（他者視点）**、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び、お絵描き（木、人、家など、絵の基本アイテムを描く練習）、折り紙、リズム、楽器、ダンス、ピアトレ、身辺自立、運動

*プロンプトを嫌がり、抵抗して泣いたり、かんしゃくを起こすことが週に1, 2回。

*「観察と洞察」

状況を見ただけで、その場で自分がすべきことを察する能力を育てる。例えば、自分がスリッパをはいていて、部屋に入ったら、たくさんのスリッパが二つずつ重ねた状態で段ボール箱に入れてあるとすると、自分もスリッパを脱いで同じように重ねて段ボールに入れる。

*「隠す」（他者視点）

「エースを探せ」エースを含む5枚のカードをお互いにカードを広げて持つ。交代で相手のカードを一枚持ち、先にエースを取った方の勝ち。大人はのぞき込むことで勝ってしまう。B君は覗き込まれないように、カードを隠さないといけない。

201×+2年9月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、名詞を増やす、**何でできてる？**、動詞を増やす、**ていねい語**（先生には丁寧語、お友だちには普通のことばと言い分ける）、接続詞、**会話（本人始まり）**、**会話（大人始まり）**、ショートストーリー、絵本の読み聞かせ、**どんな子？**（キャラクターやお友だちについて、その性格や特徴を言う）、数（単位）、平がなの読み、カタカナの読み（長音）、平がなの書き、隠す、**サプライズ**（パパにサプライズでプレゼント）、ルールのある遊び（あっち向いてホイ）、お絵描き、折り紙、楽器（木琴）、ダンス（できるかな）、ピアトレ、身辺自立（服の前後）、運動（なわとび）

*無反応、二週間で3回。気に入らないことがあって怒る2回。

*会話は、子どもの方から話題を切り出す「本人始まり」と、大人からの話しかけに対する受け答えの練習（「大人始まり」）に分けてみた。このところ本人始まりに力を入れ過ぎて、受け答えの方がおろそかになっていたため。

201×+2年10月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、上級動作模倣（ダンスで苦手な動作）、名詞を増やす、動詞を増やす、接続詞、**地図の説明**（簡単な地図で、道順を説明する）、**場所の機能**（空港は何するところ？）、会話（本人始まり）、会話（大人始まり）、**言い返す**、性格・人の評価、絵本の読み聞かせ、数、平かなの読み（絵本の読み）、カタカナの読み、平かなの書き、隠す（背中に隠して、相手に見られないように移動する）、ルールのある遊び、お絵描き、折り紙（コップ、さいふ）、楽器（木琴「メリーさんの羊」）、ダンス、ピアトレ、身辺自立、運動（なわとび）

*「言い返す」は将来、友達に心無いことを言われたときを想定して、そう言うときの言い返し方を教える。「バカ」に「バカ」と言い返すだけでよい。実際には言い返せなくても、練習することで本当に言われたときにショックが和らぐことを期待。

*ミーティングまでの一か月間、問題行動の記録がなかった。初めてのこと。

201×+2年11月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**負荷付き指示**（本人のやりたがっていることに反する指示、部屋を出て行こうとしているときに、「片づけて」など）、地図・行程の説明、場所の機能、会話（本人始まり）、会話（大人始まり）絵本の読み聞かせ、数（ひとつ〜とお）、平かなカタカナの読み、平かなカタカナの書き、隠す（ババ抜きで手を見られない）、ルールのある遊び（オセロなど）、お絵描き（手、足など）、折り紙（ひこうき）、楽器、ダンス（パプリカ）、ピアトレ、身辺自立（長袖の服を脱ぐ）、運動（鉄棒）

*課題ができなくて泣くことあり。この頃から、以前の反抗的な行動に代わって、気弱で不安な面が出てくる。

201×+2年12月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、**追視**（顔を動かさず、目だけで物を見る。動くものを追う）、**あみだくじ**、手遊び歌（アルプス一万尺）、負荷付き指示、会話（本人始まり）、会話（大人始まり）、**紙芝居**（紙芝居を読んで聞かせ、子どもにもさせる）、絵本の読み聞かせ、数（**足し算**）、文字の読み（アルファベット、平かな文）、文字の書き（文を書く）、**お手紙**（手紙を書く）、隠す、立ってするルール遊び（ルール付き鬼ごっこ）、すわってするルール遊び、お絵描き、折り紙、楽器、ダンス、ピアトレ、身辺自立（ちょうちょ結び）、運動（上投げキャッチ、まりつき）

*課題がうまくできずに泣くことが、2週間で3回。他にかんしゃく1回、無反応2回。

*ルール付き鬼ごっこは、幼稚園でクラスメイトが「逃げる人はここからここまで」などとその場限りのルールを決めて遊んでいたもので、それに対応できるように。

*数は式を書いてする本格的な足し算を始めた（ $3+2=$ など）。

201×+3年1月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、追視、手遊び歌、負荷付き指示、音声模倣（まだ明瞭に言えてない音）、**語彙を増やす**（「あ」で始まる言葉）、会話（本人始まり）、会話（大人始まり）、紙芝居、絵本の読み聞かせ、数（足し算）、文字の読み、文字の書き、お手紙、**役を演じる**（いろいろな役を振ってそれにふさわしい言動をさせる、お店屋さん、お医者さん、おまわりさんなど）、隠す、**象徴的遊び**（ないものがあるふり、など）、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び（ビンゴ）、お絵描き、折り紙（サンタのブーツ）、楽器（木琴）、ダンス（マルマルモリモリ）、ピアトレ、身辺自立（お弁当の袋をちょうちょ結びで）、運動（コマ回し）

*象徴的遊び：見立てやふりはこれまでもできていたが、象徴的遊び、という広いカテゴリーの中で、まだやっていないものを中心に。ないものがあるふり、自分が何かになったという想像、人形をまるで生きているかのように動かすなど。

*無反応、2週間に3回。凶形（☆）が描けずに泣きだすことあり。

201×+3年2月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、負荷付き指示、**Siri**、語彙を増やす、**重要概念**、会話（本人始まり）、**傾聴**（興味のない話でも、よそ見せずに傾聴する）、紙芝居、絵本、**話し合い**（話し合いで何かを決める。自分の意見と理由を言える）、数、文字の読み（「は」の読み）、文字の書き、お手紙、象徴的遊び、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び、お絵描き、楽器、ダンス、ピアトレ、身辺自立、運動

*「Siri」はSiriに向かって質問や指示を言わせることで、自然に言葉の明瞭さを高めることをねらいとした。「重要概念」は「語彙を増やす」ででてきた言葉・概念の中で、少し時間をかけて教える必要のあるものを取り出して別課題とした。「生き物」、「海」、「宇宙」など。「傾聴」はBくんが、興味のない話だと目がそれるので、こっちを見ているときにトークンで強化するなどしたが、あまり成果は出ずに終わった。

*問題行動は、プロンプトがいやで怒ったり、ゲームで負けて怒ったり、が二週間で3回ほど。無反応も二週間で三回。

*幼稚園では、帰りの支度のとき教室をぐるぐる回ったりして、支度にとりかかれなかったことあり。また発表会の練習で、ほかのクラスの発表の時、よそ見やうろうろがあった。

201×+3年3月

コンプライアンス、目合わせ、復習課題、お試し課題、負荷付き指示、語彙を増やす、重要概念、**順接と逆接**（「そしたら」と「でも」のどちらかでつなぐ）、**いつ？**、適切な質問を返す、**お話し**、紙芝居、絵本、数、**一般教養**、文字の読み、文字の書き、お手紙、**説明文**、**エチケット**、象徴的遊び（シルヴァニアファミリーごっこ）、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び、お絵描き、工作、楽器、身辺自立、運動

*「いつ？」はまだ課題として教えていなかったなので、使い方とほかの質問との弁別を教えた。「お話し」は「こわかったこと」「はずかしかったこと」などのお題を大人が出して、それについてB君に話

してもらおう。「一般教養」は市販の子ども向け月刊誌を使って、「ちょうちよが幼虫から成虫になるまで」など、年齢相応の知識を教えていく。「説明文」は「これはキリンです。キリンは長いです」など、物事を説明する文章を文字で書く練習。エチケットは人と接するうえでのマナーを、本人ができていないものを中心に教える。

*問題行動は無反応が二週間に3回。他にプロンプトで怒る1回。

4. 四年目の課題

Bくん、年長組になる。7月頃から、ようやくセラピー中の無反応などがほぼなくなる。特に対応を変えたわけではないので、成長によるものか。

幼稚園での立ち歩きなどに対しては、7月から、行動目標を決めて、それができたら連絡帳ににこちゃんマークを書いてもらい、書いてあった日には帰宅時におやつを与える、という方法で、かなり改善した。

その代わり、秋からは幼稚園のことを「こわい」と言って、朝、泣いて行きたがらない、という問題が出てくる。

201×+3年4月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お試し、ジェスチャーゲーム、負荷付き指示、反対ゲーム、語彙を増やす、見てきて／見に来て、会話コメント（相手の話しにポジティブコメントや事実コメント）、お話し、ほめる、紙芝居（接続詞の使用を促す）、絵本、数、一般教養、文字の読み、文字の書き（ノートに書く）、援助行動・思いやり、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び、絵（大人の絵をまねして描かせる）、工作、楽器（木琴、キーボード）、運動（なわとび、ドッジボール）

*「ジェスチャーゲーム」は大人とB君が一枚ずつ紙をめくって、紙に書いたお題（歯みがき、鉄棒、さかな釣り、お誕生日、玉入れなど）を、ジェスチャーだけで相手に伝える。相手はそれを当てる。間違っても笑って、楽しくする。「反対ゲーム」は相手がしたことと反対のことをするお楽しみゲーム。「見てきて／見に来て」はこの二つをB君が混同していたので、弁別訓練を行う。「援助行動・思いやり」は、Bくんが年長さんになったので、年少さんが入ってきたら、どう接してあげたらよいか、例を挙げて考えさせる。

*無反応、二週間に2回（「え、なんて？」と聞こえなかったふりをする）。プロンプトで泣く1回。負けて泣く1回。

201×+3年5月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お試し、ジェスチャーゲーム、傾聴、類似と相違、語彙を増やす、会話コメント、お話し、ほめる（評価＋ほめる。「～してえらいね」）、なぐさめる・励ます、紙芝居、絵本、数（引き算の指算）、一般教養、文字の読み、文字の書き（宝探し、お手紙）、援助行動・思いやり、立ってするルール遊び、すわってするルール遊び（ストループ）、絵、折り紙、楽器、運動

*無反応、2週間で3回。泣いたり、怒ったりは報告がなかった。

201×+3年6月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お話し、4つの指令・時間制限付き指示、幼稚園ことば、ジェスチャーゲーム（一人二役）、傾聴、類似と相違、語彙を増やす、こんなときどうする？なんて言う？、お話しとコメント、残念な人たち、紙芝居、絵本、数（ドットを使った足し算引き算）、一般教養、文字の読み、文字の書き、ルール遊び・関わり遊び、絵、折り紙、楽器、運動（けん玉）

* 「4つの指令」は1分以内に紙に書いた4つの「指令」（本を本棚に、おもちゃをおもちゃいれに、すわるなど）を遂行する、という課題。Bくんがよく幼稚園の先生の指示を聞き漏らすので。時間制限を設けたのは、その方がBくんがモチベーションが上がるため。

* 「こんなときどうする？なんて言う？」は特に相手が知っているか知らないかで、言うべきことが変わるような例を多くした。「お友だちが海に落ちた。助けを求めて走っていたら、知らないおじさんに出会った。なんて言う？」（「助けて」ではだめ。状況を説明する）「幼稚園で知らない子がハンカチを落として、そのまま行っちゃった。どうする？先生になんて言う？」（ハンカチが落ちてました、ではだめ。）「残念な人たち」は相手の困った行ないをやりわり注意したり、困っている子を慰めたり、ミスを教えてあげたりする。（例えば前の子がおしゃべりしていて、列が進んでいるのに気が付かない。「早く前に行ってよ」。体操服を忘れて泣いている子→「大丈夫だよ。先生に、「忘れました」って、言ったらいいよ。一緒に行ってあげようか」。シャツが出ている子に、「ねえねえ、シャツ、出てるよ」。「数（ドットを使った足し算引き算）」は、これまで指算で足し算引き算を教えてきたが、指算に頼らなくても、健常児のように、頭の中で数を分解・合成して、繰上りや繰り下がりを含めた足し算、引き算ができるようにするため、一列5個ずつのドット表を用いて、それを見て答えを出させる練習。

* 無反応、二週間に二回。プロンプトされて怒ったり、間違えて泣くことが週各1回ほど。

201×+3年7月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お話し、幼稚園での行動修正、ジェスチャーゲーム、複雑な指示・幼稚園ことば、あげもらい、類似と相違、語彙を増やす、一般教養、どうする？なんて言う？、会話、傾聴（相手の話しに目合わせ、相づち、感想を言う）、クイズ、紙芝居・お話し（昔話のあらすじを説明させる）、絵本（物語）の理解（絵本の内容理解を深める）、数（ドットの足し算、引き算）、文字の読み（カタカナの小さいア、イ、ウ、エ、オ。例えば「ティー」）、文字の書き（ひらがなとカタカナの使い分け）、関わり遊び、絵、工作・役割行動（工作の際、役割を決めて、分担協力する）、計画行動（ある目的のため、必要なものや手順を考えさせる）、折り紙、楽器、運動（体操）

* 「幼稚園での行動修正」は、絵本タイムに立ち歩く、という問題行動をなくすため、「えほんのとき、ちゃんとすわってえほんをよむ」という行動目標を、紙に書いて、朝、B君に読ませる。連絡帳にも書いておき、守れたら先生にこちゃんマークを描いてもらう。帰宅時、にこちゃんが書いてあったら、シールとおやつ。シールが溜まったら、週末に何か買える。これが功を奏し、二学期以降、幼稚園での問題行動がかなり減る。

*問題行動は二週間記録なし。

*幼稚園では、トイレから戻った時、活動に戻らずに部屋をぐるぐる回る。絵本タイムのときに絵本を見ずにうろうろするなどの行動あり。

201×+3 年 8 月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お試し、幼稚園での行動修正、**図形構成**、計画行動・役割行動、複雑な指示・幼稚園ことば、あげもらい、**様々な表現**（比較級）、類似と相違、類似と相違、語彙を増やす、一般教養、会話、傾聴、クイズ、絵本の理解、数、**漢字の読み書き**、**板書・文字の読み書き**、関わり遊び、絵、工作、折り紙（手裏剣）、楽器（キーボード）、運動（体操）

*「図形構成」は三角を二枚組み合わせて、四角を作る練習。「様々な表現」は主に比較表現。例えば、「～より強い」でお話して。「ゴリラはチンパンジーより強い」。

*ひらがなとカタカナの読み書きはほぼ完成したので、漢字の読み書きを始めた。また小学校に備えて、黒板の板書を見て写す練習も。

*問題行動：二週間で、物投げ 2 回、プロンプト拒否 1 回。

201×+3 年 9 月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お試し、幼稚園での行動修正、複雑な指示・幼稚園ことば、**逆さ言葉**、あげもらい、様々な表現（「～は～が」。例「ゾウは鼻が長い」）、類似と相違、語彙を増やす、一般教養、会話（本人始まり）、会話（大人始まり）、**ディスカッション**（2、3人で意見を言う。話を聞く。協力する）、**複雑な感情**、絵本（物語）の理解、数、漢字の読み書き、板書・文字の読み書き、**立ってするルール遊び**（遊びの途中変更についていく）、**思いやり・感情推測**、役割行動、絵、折り紙、楽器（キーボード 5 本指）、運動（ドッジボール）

*「逆さ言葉」はカルタで、物の名前をわざと逆さに言う。例えば「いるか」を「かるい」と読み手が言う。それを頭の中で逆さにして、カルタを探さなくてはいけない。「複雑な感情」は物語を通じて、恥ずかしさ、懐かしさ、恋しさ、うらやみ、ねたみ、さみしさ、などの感情を教える。ただしその言葉を言える必要はない。例えば「恋しさ」は「どうして、どうしても家に帰ろうと思ったの？」ときいて、「ママに会いたかったから」と答えられればよい。つまり「恋しさ」という感情を B 君なりなことばで表せればよい。「立ってするルール遊び」は幼稚園で、子どもたちが「次は高おにしよう」などとどんどん遊びを変えていくのについていけないことが分かったので、家でその練習をすることに。「思いやり・感情推測」は思いやりが必要な場面を考えて、そこで取るべき行動や言うべきことを考えさせる（例：「たけしくんは組体操で、いつも一番下で、すぐつぶれてしまう。なんて言ってあげたらいい？」「気にするなよ」）。「役割行動」は家で、食事の時の配膳係をさせることに。

*幼稚園でのふらふら、うろうろがなくなった。

*二週間のうち、一度、課題が「わからない」とボイコットして泣くことあり。

201×+3 年 10 月

コンプライアンス、目合わせ、復習、お試し、幼稚園での行動修正、**空間認知**、幼稚園ことば、あげもらい、様々な表現、語彙を増やす、一般教養、会話、絵本（物語）の理解、**物語を作る**（「昔々」でお話して、など）、数、時計の読み、漢字の読み書き、文字の読み書き、**小学校の練習**、立ってするルール遊び、思いやり・気持ちに寄り添う、役割行動、絵、折り紙、楽器、運動、身辺自立

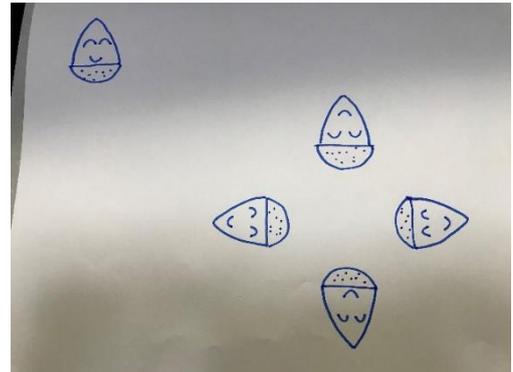
* 「空間認知」は主に、図形の回転。頭の中で絵や図形を回転させて、同じものを探す。

* 「物語を作る」は「いじわるなおじいさんの話をして」「貧乏なおばあさんの話して」など。

* 「小学校の練習」はBくんが行く予定の小学校で、朝の時間にスピーチがあるらしいので、その練習など。

* 呼びかけへの目合わせは、ほぼ100%で安定。「すわって」も70~100%の正反応率を維持。

* 家庭での問題行動は2週間のうち、プロンプト拒否が3回。うち一回は構わずプロンプトするとかんしゃくに。



201×+3年11月

* ずっと仲良くしてくれていたお友だちが、ほかの子と遊ぶようになって、不安定に。登園時に泣いたり、園で、朝の一連のルーティーンをいちいち先生に確認する（「手洗いするの?」「トイレするの?」など）などの行動が増えた。